

大和市 つどいの広場事業 こども〜る鶴間通信【No.180】

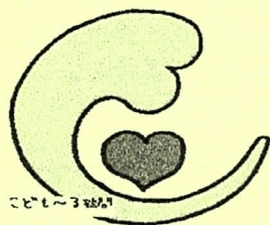
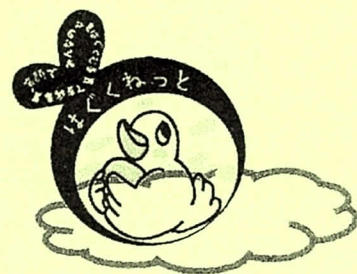


Mail



URL

2022.9.1 こども〜る鶴間発行



《運営》

認定NPO法人

地域家族しんちゃんハウス

- ☆子育て親子の交流つどいの広場の提供
- ☆子育てに関する相談・援助
- ☆地域の子育て関連情報の提供
- ☆講習会

利用対象者

★乳幼児（0～3歳未満児）とその親（保護者）

★妊婦さん

《お問い合わせ》

電話：090-3685-2288(こども〜るフォン)

場所：イオンモール大和4F（ライトコート側）

9月の予定

日		月		火		水		木		金		土	
前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半	前半	後半
※ 保:保育士 栄:栄養士 看:看護師 助:助産師 :社会福祉士 子:子育てアドバイザー 経:子育て経験者 絵:絵本講師								☆こどもーる鶴間のライトはなぜ暗くしてあるかご存じですか？ 赤ちゃんの脳活動に最適にしてあるからです。 大人は明るいのが良いかもしれませんが、赤ちゃんは違います。 光の刺激が強かったり多かったですと興奮してしまうのです。					
保・保		栄・保		保・保		保・栄		保・保		保・栄		看・経	
1				A(13:30～16:30)				2				3	
保・経		子・看		保・社		保・経		保・絵		保・保		保・経	
4		5		6		7		8		9		10	
													
保・保		看・保		保・保		保・経		保・保		栄・保		保・子	
11		12		13		14		15		16		17	
													
保・経		保・子		保・経		保・子		保・保		保・保		保・子	
18		19		20		21		22		23		24	
													
保・経		看・子		保・社		栄・保		社・経		保・子		保・経	
25		26		27		28		29		30		各時間8人・入替制 (各時間毎に清掃を行います) ①10:30～11:30 ②12:00～13:00 ③13:30～14:30 ④15:00～16:00 ⑤16:30～17:30	
						B(14:00～16:00)							

☆子育てアドバイザーの交代は14時です

 管理栄養士の日 A(13:30～14:00)	 保健師による育児相談 A(13:30～16:30) B(14:00～16:00)	 保育士による 育児相談 (13:30～16:30)	 発達相談 (14:00～17:30)
 絵本相談 (10:30～14:00)	 絵本読み聞かせ (15:00～15:15)	 社会福祉士の日 (10:30～14:00)	 親子の 保育士ボランティア タッチプログラム (11:00～11:30) (10:30～11:00)

世の中に子育てほど尊い仕事はありません。
私たちの未来を創ることであり、
未来の幸せを可能にする仕事だから。



地域家族しんちゃんハウスが
Instagramはじめました！
【地域家族しんちゃんハウス】
という名で『大切なこと』を
発信しています！
こちらから見るができます。





爪噛みって奥が深い

爪や指先は身体の健康状態だけでなく心の状態も映し出す大切な場所なのだそう。私たち大人は幼少期から爪や指先の大切さに注目して、子どもの心が出す小さなサインを見逃さずに受け止められているでしょうか？ 大人の気づく力を養い子供と大人の関わりが少しでも穏やかに、豊かになるようなお手伝いを目的に情報発信をしている日本ママの手協会で、マスターアドバイザーとして活動されている平澤さんに、乳幼児の爪噛みについての講座をしていただきました。

普段ネイリストとして活動されている平澤さんは爪の専門家、ネイリストという綺麗な色のマニキュアで爪をデコレーションするイメージですが、日本には爪専門の病院がないので爪のトラブルや悩み事も、ネイリストに相談するのが良いようです。姿勢を美しくするだけでなく健康的な美しさを目指して欲しいのだそう。講座では普段よく質問される事をもとにお話をいただきました。

講師紹介

一般社団法人
日本ママの手協会
マスターアドバイザー

平澤 理子 さん



走れるネイリスト

(巻き爪・トラブルネイル・角質
ケアお任せあれ！)

ネイリスト歴11年！

ツインズのみ(中学3年・陸上部)の
ママでもあり、現在はPTA会長、神奈
川県P役員、はぐサポーターとしても
活躍中。指先から健康な心を育む為に
日々活動しています。詳しくはコチラ→



から日本ママの手協会の公式Instagramが見れます。

Q1/ どうして爪を噛むの？ (原因を知る)

- ・無意識…自分では気づいていない
- ・愛情のバランス…愛情不足や愛情過多など、それはお母さんのせいではなくその子に合った愛情の量と違うだけ
- ・指しゃぶりの名残…指しゃぶりはお母さんが妊娠中に赤ちゃんがお腹の中にいる時から始まっているごく自然な工程

Q2/ 怒っても爪を噛むのをやめません (改善方法を知る)

子どもは爪を噛んでいる事に対して、それが悪いという認識がない。
噛んでいる事に気づいていない場合もある為、言われて初めて気づく場合も。

- ・まずは見守る
- ・違う行為に誘導する(「手をつなごう」、「このおもちゃで遊んでみない」と他のものを渡す)

Q3/ 約束しても気づくとすぐに爪を噛みます (改善方法が効かない場合)

- ・無意識に噛んでいる為自分では気づいていない
- ・興味のあることや好きな事につなげて話してみる(子どもがイメージしやすいもの)
例えばプリンセスが好きな子なら、「プリンセスって綺麗な爪だよねえ」と爪が綺麗な事に注目させてみる。
また好きなキャラクターについて話している途中で「(キャラクターが)爪噛んでるところ見たことある？」など。
より具体的に想像しやすい声かけするように心がける。
- ・繰り返し話をする…根気がいるが子どもとのコミュニケーションの一つだと思って何度も繰り返す。



最後に、講座を聞く前に自分自身が子どもにしていたことで、講座後に新たにこうしてみようかなと思ったことを書き出して、参加者で情報共有をしました。



講座を聞く前の対応

- ・爪を噛んでいるところを見つけた時、ハッとした顔で子どもが見てきてダメな事をしている自覚があるんだと思った
- ・少しでもものびている爪を見つけたら、噛まずにいるんだねと、褒めるようにしていた
- ・爪噛むと指が痛くなっちゃうから噛まない方が良いなあと伝えていた

講座後に試してみたい対応

- ・より具体的に伝えるようにしたい。抽象的な表現は子どもは理解するのがむづかしいことが分かった
 - ・キャラクターなど子どもが好きなものに置き換えて伝えてみたい
- などの意見が多くあがりました



まとめ



爪が短くなりすぎると体の機能として正常に働かなくなってしまう。爪は立ったり歩いたり走ったりするとき、力を吸収する働きをしているからです。しかし、爪噛みを気にしすぎると大人も子どもも気持ちが疲れてしまいます。むしり過ぎたり噛み過ぎたりして血が出たりするようなら病院を受診しなければですが、そこまでないなら大きな気持ちを持ち、声をかけつつ見守ることが大切です。どうしても気になる時には、物理的に爪を噛まなくさせる苦いマニキュア(子どもが口にしても安全な成分でできている)もあります。爪に塗って子どもがなめた時に苦味を感じて噛まなくなるという便利なグッズも今はあるので、かしこく活用するのも良いですね。